



早稲田大学 交響楽団

ワセオケで、オーケストラを。

ワセオケとは？

ワ ワセオケ創立 110 年！

早稲田大学交響楽団は「ワセオケ」の愛称で親しまれる、大学公認のオーケストラです。長い歴史と伝統を持ち、2013 年には創立100 周年を迎えました。初演実績も数多く、モーツァルト/交響曲第35 番「ハフナー」の日本初演、ショスタコーヴィチ/交響曲13 番「バービィ・ヤール」の日本初演等があります。サントリーホールなど日本有数のホールでの主催公演(年5回)や、早稲田大学のオフィシャル・オーケストラとして、入学式をはじめとする大学公式行事にも出演しています。

セ 世界に認められたワセオケの音！

1978 年に行われた「第5 回国際青少年オーケストラ大会」(通称カラヤン・コンクール)で優勝して以来、ワセオケでは約3 年に1 回、ヨーロッパでの海外公演を実施しています。2018 年には15 回目となる海外公演を迎え、ドイツ・オーストリアの11 都市をめぐり、ベルリンのフィルハーモニーやウィーンの楽友協会といった著名なホールで演奏することができました。次回ツアーは2024 年を予定し、準備を進めています。

オ オールワセダのオーケストラは学内唯一！

ワセオケは早稲田大学の学部生のみで構成される、唯一の「オールワセダ」のオーケストラです。様々な学部から仲間が集まり、団員数は総勢約 200 人にのびります。4 年間で先輩と後輩、OB・OG の方など沢山の仲間と出会うことができます。テスト対策や就活など、何か困ったことや分からないことがあっても助け合える環境が、ワセオケにはあります。

ケ 経験がなくても大丈夫！

経験者はもちろん、初心者も募集しています！先輩が教えるのに加えて、プロによる指導の機会があるためどんな人でも上達できます。新しい楽器に挑戦したい人や、今まで音楽とは無縁だった人も、ぜひお越しください！

○ 活動について

Q. 楽器は借りられるの？

自分の楽器を持っていない人でも、団で所有している貸楽器を使って活動に参加していただけます！打楽器はもちろん、コントラバス、ファゴット、チューバなどは貸楽器を使う団員が多いです。ほぼ全てのパートに貸楽器はございますが、数が限られていたり、状態が優れないものがあつたりするため最終的には購入する団員もいます。希望するパートの状況が気になる場合はお気軽にお問い合わせください！

Q. 普段どんな活動をしているの？

週3回、月・水の18時～21時、土の17:15～20:15に早稲田付近の公共施設を借りて練習をしています。Tuttiと呼ばれるオーケストラ全体での合奏がメインです。時にはセクションや楽器ごとの少人数での練習もあります。また、NHK交響楽団をはじめとするプロの奏者から直接ご指導いただける機会もあります。

Q. 年間にかかる費用は？

1か月分の団費6千円に加え、主催公演ごとに5千円～1万5千円、また合宿を実施した場合はさらに5～6万円を支払っています。不安のある方は近くの先輩までお気軽にご相談ください！

Q. 初心者でも大丈夫？

初心者の方も募集中です！現在団員の約1割が大学から楽器を始めています。大学に入ったら新しい楽器に挑戦したい方や、そもそも音楽経験がない方、どなたでもお待ちしております。さらに、ワセオケは年間を通じて新入団員を募集しています。新歓期が終わった後でも大丈夫です。いつでも見学しにきてください！

○ トレオケについて

学年を問わずオーケストラの基礎を学ぶ場として、トレーニングオーケストラ、通称「トレオケ」と呼ばれるオーケストラがあります。オーケストラ経験者の方だけでなく、楽器初心者の方や吹奏楽部出身の方など入団した全員が、ワセオケの一員として演奏を作り上げていくために、オーケストラ内での演奏の仕方や振る舞いを学びます。人によって期間は異なりますが、新入生のほとんどが最初の1年間トレオケに所属します。トレーナーの先生方や上級生が丁寧に教えてくれるので、初心者の方でも安心してオーケストラの世界に入ることができます！

また、トレオケで得た成果を発表する場が年に数回設けられ、「Fresh Concert」では立派なコンサートホールで団外のお客様に向けて演奏します。トレオケでの経験がその後のワセオケでの演奏において大きな役割を果たします。

○ 感染症対策について

ワセオケでは、大学や練習会場からのガイドラインに従って活動しています。練習を始める前には必ず参加者の体温測定や消毒を行い、練習後は接触者を調べることで、万が一の事態が起きた場合にも迅速に対応できるようにしています。具体的なことが気になる方はお気軽に先輩までお聞きください。

○ ヨーロッパツアーについて

2024年2月下旬から3月中旬にかけて2～4年生を中心にドイツ・オーストリアを回る演奏旅行を予定しています。その間1年生は、基本的に国内に残りツアー後を見据えて活動を行います。主にベルリンやウィーンなどの格式高いホールで演奏を行う予定です。当楽団の海外演奏旅行は1978年にベルリンで開催されたカラヤン財団主催の第5回国際青少年オーケストラ大会における優勝を契機に始まりました。2021年は中止になりましたが、近年では3年に1回、過去15回の海外演奏旅行を行ってきました。

さか もと たま き
国際教養学部チェロ2年 坂本 珠姫

私の所属する国際教養学部は必修科目がライティングの授業しかなく時間割を自由に組めるため、ワセオケを含め他のことも両立がしやすいです。科目登録が他の学部と比べて大変なので、先輩に人気な先生や授業を聞いて情報を集めるのがおすすめです！私は寮に住んでいて家で音出しができないため基本的に学生会館で練習する必要がありますが、空きコマを有効活用して練習時間を確保しています。学部柄留学が必須であり、春学期のGPAが留学の選考に用いられるため前期は勉強を頑張る人が多いです。ワセオケの同じ学部の先輩に相談や話を聞いていただいたりしたことで不安を和らげることができました！皆さんと会えるのを楽しみに待ってます！

	月	火	水	木	金	土
1	授業			授業		
2	授業		授業	授業		
3	授業	授業	授業	授業		
4		授業			授業	
5				授業		
6	ワセオケ		ワセオケ			ワセオケ
7	ワセオケ		ワセオケ			ワセオケ

おお つか がく
先進理工学部オーボエ2年 大塚 岳

1年生から週1日（2限～5限）実験がある上（所属する応用物理学科以外も）、当日の21時までに問題を解いて出さなければならないゼミナールなどもあり、勉強は大変です。加えて私は教職も取っているので授業のコマ数が多く、最初はこの日程でワセオケの週3日の活動や演奏会ができるか不安でした。でも心配はいりません！！ワセオケでは、先輩方も相談にのって調整してくださいまし、何より素晴らしい指導者や仲間恵まれ、ギュッと凝縮した時間の中でも音楽を楽しみたい！と思うことができます。いまは、週末はほかのアマチュアオケでも活動し、別のサークルにも時々参加、美術館めぐりやコンサートに出かける時間も取れています。2年生からはバイトも始めるつもりです。みんなと音楽をつくりあげ楽しむことを感じたい人はぜひ来られ！

	月	火	水	木	金	土	日
1	授業	授業		授業	授業		
2	授業	授業	授業	授業	授業		
3	授業	授業	授業	授業	授業		他サークル
4	授業	授業	授業	授業	授業		他サークル
5	授業	授業	授業	授業			
6	ワセオケ		ワセオケ		他サークル	ワセオケ	
7	ワセオケ		ワセオケ		他サークル	ワセオケ	

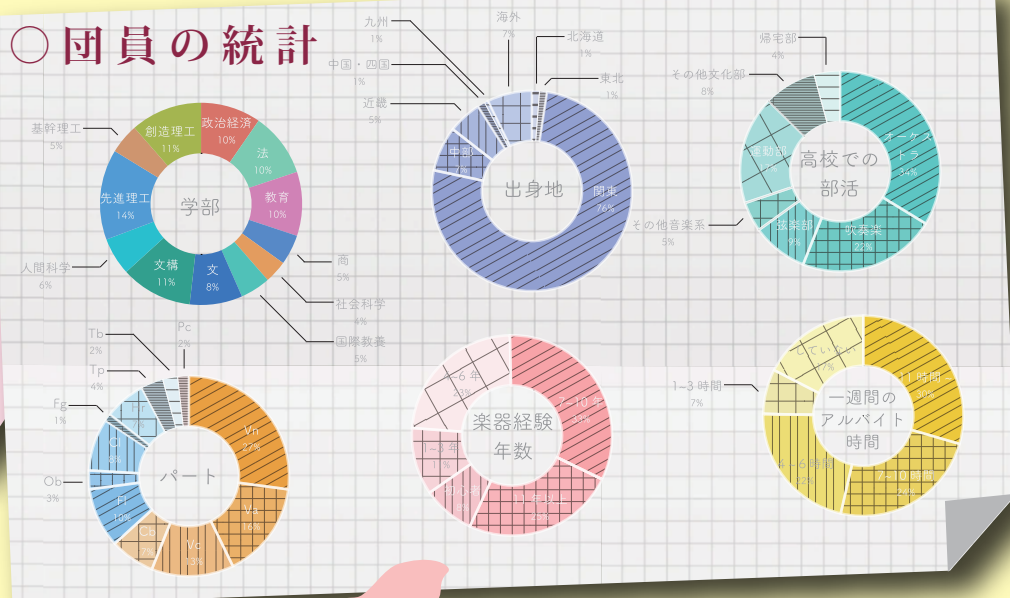
政治経済学部ヴァイオリン3年

きし もと れ お
岸本 玲旺

大学生になったらバイト頑張るぞ！となる方もいらっしゃると思います。ワセオケとバイトの両立に不安を感じている方、心配ご無用です！ワセオケの活動は通常夜にあるので、私はそれまでの時間や授業の合間に週3・4でバイトに行き、終わってから練習してリハという生活を送っています。また、基本的に月水土に練習を行うので、それ以外の曜日であればバイトや遊び・勉強に費やすことができます！ワセオケに入ってサークル・バイト・授業を両立して充実した大学生活を送りませんか？まだ不安な方やおすすめのバイトを教えてください！先輩方やこの写真の人まで気軽に話しかけてくださいね！

ワセオケ団員の声

○団員の統計



○楽団指導陣

名誉指揮者	大友 直人
	高岡 健
	山下 一史
桂冠名誉顧問	ルドルフ・ワインスハイマー
名誉顧問	山岡 重信
ミュージック・アドヴァイザー	寺岡 清高
音楽顧問	杉原 裕美

2013年11月17日(日)
東京オペラシティコンサートホール
サイモン・ラトル氏によるブルックナー/
交響曲第7番のリハーサル風景

Special Thanks !

シュテファン・ドール	ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者。2016年2月、第10回 純真門会 New Years Concert 2016にて、モーツァルト/ホルン協奏曲第3番にてご共演いただきました。
ミクロシュ・ペレーニ	チェロ奏者。リスト音楽院教授。第5回早稲田大学創立100周年記念演奏会にて R・シュトラウス / 交響詩「ドン・キホーテ」(2013年3月20日)、また、冬季特別演奏会～名匠ミクロシュ・ペレーニ氏を迎えて～にて、ドヴォルザーク/チェロ協奏曲でご共演いただきました(2015年12月10日)。
林 英哲と英哲風雲の会	林英哲コンサートのアンサンブルメンバーとして国内外の演奏活動に参加する太鼓ユニット。主宰者の林 英哲氏は11年間のグループ活動後、1982年に日本で初めての太鼓独奏者として活動を開始し、国外でも活躍されています。
サイモン・ラトル	元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。芸術監督。ブルックナー交響曲第7番のリハーサルをしていただきました。
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団金管奏者	当楽団の金管セクションに向け以下の方々にご指導いただきました。 ホルン サラ・ウィリス トロンボーン クリストハルト・ダスリング オラフ・アウト トランペット ガボール・タルケヴィ マルティン・クレツァー チューバ アレクサンダー・フォン・プットカマー ゴヨーム・ジェル

トレーナー

田淵 彰	元NHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者、洗足学園大学名誉教授。
金田 幸男	元NHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者。
森田 昌弘	NHK交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。
三又 治彦	NHK交響楽団第2ヴァイオリン次席奏者。
井野達大輔	仙台フィルハーモニー管弦楽団ヴィオラ・ソロ首席奏者、大阪フィルハーモニー交響楽団特別契約首席ヴィオラ奏者。
大山平一郎	元ロサンゼルス・フィルハーモニック首席ヴィオラ奏者。
宮坂 拓志	NHK交響楽団チェロ奏者。
志賀 信雄	元NHK交響楽団コントラバス奏者。国立音楽大学教授。
高山 健児	当楽団OB。読売日本交響楽団コントラバス奏者。
菅原 潤	NHK交響楽団フルート・ピッコロ奏者。
和久井 仁	NHK交響楽団オーボエ・イングリッシュホルン奏者。
加藤 明久	元NHK交響楽団クラリネット奏者。昭和音楽大学教授。武蔵野音楽大学非常勤講師。
霧生 吉秀	元NHK交響楽団首席ファゴット奏者。昭和音楽大学客員教授。
今井 彰	当楽団OB。元東京フィルハーモニー交響楽団ホルン奏者。
木川 博史	NHK交響楽団ホルン奏者。
川田 修一	東京フィルハーモニー交響楽団首席トランペット奏者。
奥村 晃	新日本フィルハーモニー交響楽団トロンボーン奏者。
多戸幾久三	元NHK交響楽団テューバ奏者。
久保 昌一	NHK交響楽団首席ティンパニ奏者。

2023 年度ワセオケ年間活動予定

Early Summer Concert (仮称)

6月3日(土) 新宿文化センター 大ホール



新年度初めての主催演奏会です。世代交代をしたオーケストラのお披露目をする舞台であり、気持ちを新たに多くのお客様を前に演奏する大切なコンサートとなります。

Fresh Concert (仮称)

12月19日(火) 所沢ミューズ



1年生を中心に構成された「トレオケ」を一般のお客様にお披露目する初舞台となります。プロも利用する立派なコンサートホールで、約半年間練習を積んできた成果を発表します。

前期室内楽演奏会 7月頃



年に2度、楽団内で開催される室内楽演奏会では、小編成のアンサンブルを通じて仲間の音楽に触れることで、オーケストラで演奏するための技術をより深く学ぶことができます。



夏合宿

9/11 ~ 9/15



夏季長期休暇中に集中的に練習の機会を設けます。たくさんの方のアドバイザーの先生方にご指導いただき、更なる技術の向上を目指します。

秋季演奏会 (仮称)

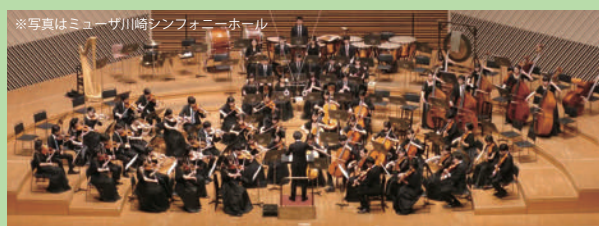
10月28日(土) 東京芸術劇場



年度の中間となる演奏会です。夏の長期休暇などで練習を重ねてきた成果を披露する場となります。

第213回定期演奏会

2月10日(土) 東京芸術劇場



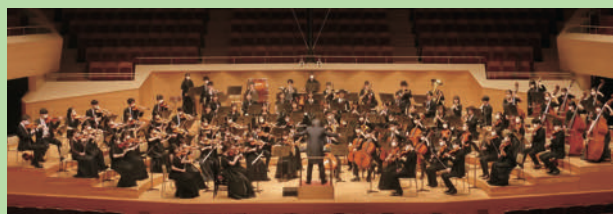
年度のまとめに入る時期での演奏会です。日頃の練習の成果を披露するとともに、一年間の締めくくりに向けてさらなる成長を目指します。

ヨーロッパツアー 2024 2/26 ~ 3/17

通算16回目となる海外公演です。ドイツ、オーストリアのホールで公演を行います。様々な国の聴衆の皆様と演奏会という場での交流を通じて相互理解を深める、国際文化交流となります。

第214回定期演奏会

3月21日(木) サントリーホール 大ホール



今年度内最後の演奏会です。4年生最後の舞台でもあり、格式高いサントリーホールという舞台で一年の集大成となる演奏を披露します。新しい年度も意識した上で、より成熟したオーケストラとしての演奏を目指します。

後期室内楽演奏会

11月頃